

(別紙5)

整理番号 2021P-104
補助事業名 2021年度 実践的研究を通じた人間力育成支援活動 補助事業
補助事業者名 飯塚市立飯塚第二中学校

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

SDGsに関する体験的な学習，多文化共生のための体験的な学習，芸術鑑賞会を通して，持続可能な社会の創り手として必要な資質・能力の育成。

1人1人がSDGsを「自分ごと」として捉え，考え，行動を起こそうとする生徒の育成。

(2) 実施内容

「SDGsに向かう二中」 (<https://www.city-iizuka.ed.jp/dai2/calendar>)

※令和3年7月14日掲載

ア SDGsに関する体験的な学習



100人村ワークショップ



地域創生ワークショップ

100人村ワークショップでは，世界の現実について体験的に学び，現状に目を向け，様々な「ちがい」を認め合う態度を身につけた。地域創生ワークショップでは，「人口，経済，環境，暮らし」面から多様な立場で考え，「持続可能な」都市をみざした。

イ 多文化共生のための体験的な学習



多文化共生ワークショップ



講師 九州海外協力協会

多文化共生ワークショップでは、NPO法人九州海外協力協会より、米村NPO法人九州海外協力協会より、米村氏、河野氏を招いて、多文化共生ワークショップを行った。このワークショップは、グループごとにルールが違うカードゲームを行い、社会的マイノリティの方々立場を実感させ、考えさせるものであった。

ウ 異文化体験芸術鑑賞会



劇団アフリカ



体験型の芸術鑑賞会

劇団アフリカは九州を代表するアフリカンアーティスト達で、総勢20名に及ぶエンターテイメント集団である。ジェンベなどアフリカの伝統打楽器からなる音楽と、エネルギッシュなアフリカンダンスが披露された。

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

「SDGsに向かう二中」を重点目標にした令和3年度の本校の事業(SDGsに関する体験的な学習・多文化共生のための体験的な学習・芸術鑑賞会・シルクプロジェクト)は上記のような成果を上げ、SDGsという言葉が、家庭・地域社会にも浸透し始めた。

また、本校のSDGsの取り組みは、地域交流センターの事業でも広く紹介されSDGs推進の一助となっていると自負している。さらに、新聞等でも紹介されることによって、生徒たちは自分たちの取り組んでいることについて有用感を感じ始めている。

今後、第一義的には生徒のさらなる持続可能な社会の創り手としての成長が予想されるが、SDGsや国際交流といったものが限定的である地方都市において、その推進に貢献できることも成果として予想される。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

特になし

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

特になし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 飯塚市立飯塚第二中学校
(イイツカシリツイイツカダイニチュウガッコウ)

住 所： 〒820-0011
飯塚市柏の森438番地

代 表 者： 校長 猿渡 和則 (サルワタリ カズノリ)

担 当 者 名： 教頭 大里 昌輝 (オオサト マサキ)

電 話 番 号： 0948-22-3713

F A X： 0948-22-3909

E-m a i l： iizuka2nd.j@city-iizuka.ed.jp

U R L： <https://www.city-iizuka.ed.jp/dai2/>